

元気で歩こう会

ホーム 基本情報 活動紹介 おしらせ 問い合わせ

元気で歩こう会 東久留米の史跡めぐり 23. 12. 8



生涯学習センター⇒米津寺⇒前沢御殿跡⇒野火止歴史環境保全地域⇒下里本邑遺跡公園⇒生涯学習センター 歩行距離 約6.5キロ

前回が雨で流れただけに、この日は待望のウォーキングもあり、52名が集まりました。

まずは、多摩地区で唯一の大名墓所があり、東京都の指定史跡第1号の米津寺から始まり、江戸時代の尾張藩の鷹狩りのための御殿跡、松平信綱が造った野火止用水のそばの歴史環境保全地域、旧石器時代から縄文、弥生、奈良、平安の時代に生活した人々のムラの跡が発掘された下里本邑遺跡公園と、市内中部にある史跡を訪ね歩きました。

ウォーキングの後は中央町地区センターで当会初めての総会・懇親会を開き、46名もの多数の出席者とビンゴゲームなどで、お互いの絆を深めました。



米津家(よねきつ)は三河時代からの徳川家の臣下で、三河家臣団の重鎮を描いた『16神将図』には、米津勝政が家康と一緒に、服部半蔵など16神将の一人として描かれている。

墓所には、二代田盛、四代正矩、六代政嵩、八代政よしが葬られているが、初代の田政は江戸町奉行、二代目田盛は大阪城定番となり一万石の大名となる。

初代田政以下の奇数の藩主は深川本誓寺に葬られていたが、戦災で焼失した。
(以上「東久留米の江戸時代」から引用。)



野火止歴史環境保全地域

武蔵野の雑木林は15~20年を周期として、蒔や炭などに使うため伐採され、その切り株から芽が出て萌芽更新されてきたが、生活様式が変わった現代は人手に頼らざるを得ない。



萌芽更新

今年の2月に伐採した切り株から見事に芽が出て2メートル近くまで伸びている。
日当たりなどの林床の環境がよくないと駄目だそうある。



萌芽更新を手助けした東久留米ふれあいボランティアのKさんの説明に耳を傾けている元気集団。

下里本邑遺跡公園

3万~1万年前の旧石器時代、8千年前~5千年前の縄文時代、2千年前の弥生時代、1千2百年前の奈良・平安時代の人々が生活した大規模な複合遺跡であることが確認されたと記してある。



元気集団の集合写真

お陰でみんな元気で12/17のラストウォークを迎えるようである。本年は延べ888名が参加し、125キロを歩いた。(12/8現在)
来年も元気で歩こう!